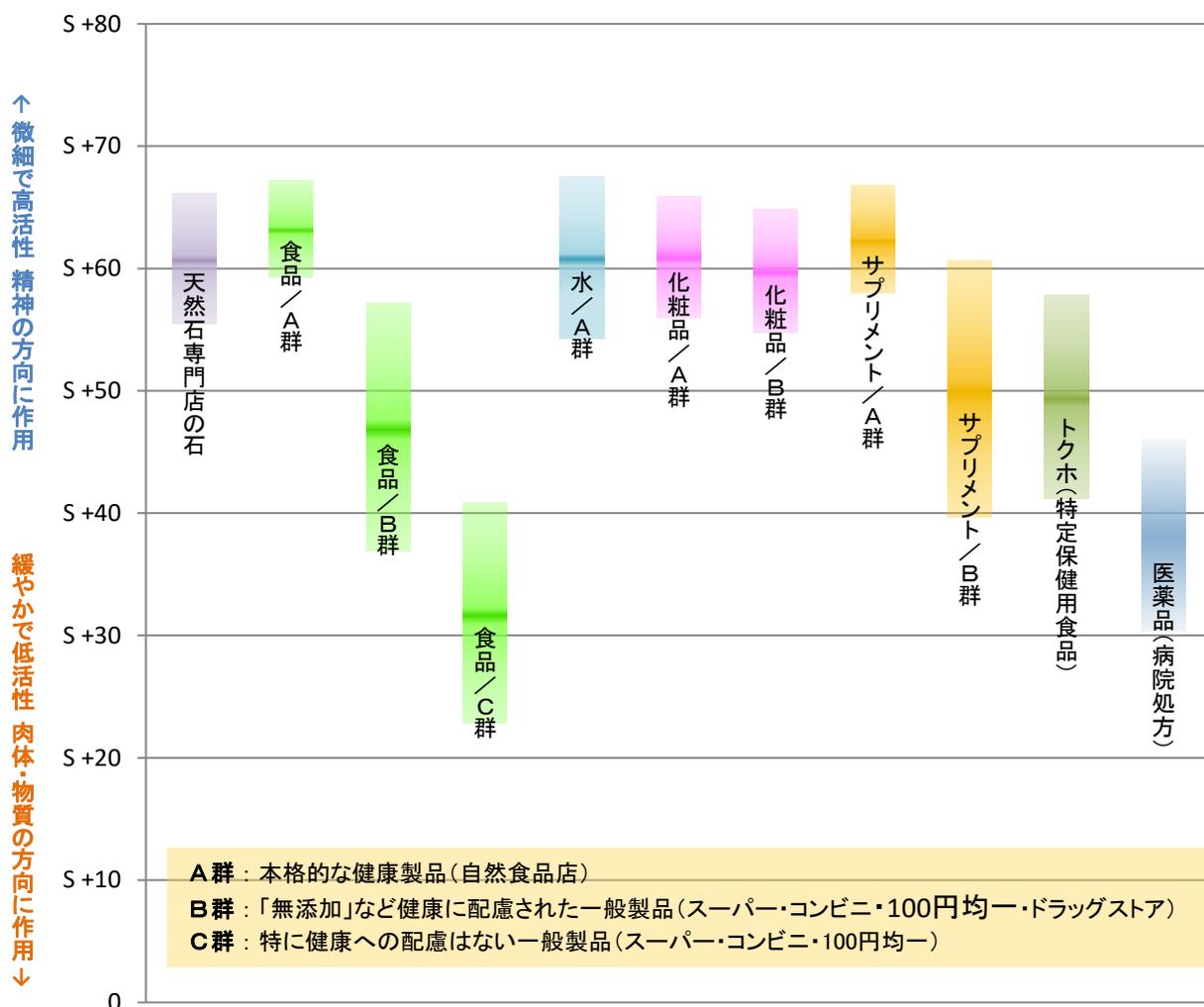


# 世間の製品の状況 I

《 活性度(波動値の高さ) 》



- 製品の波動値には、**平均的なもの**のほかに、**それより高いもの**と**低いもの**があります(波動値の分布)。上のグラフでは、カテゴリー別に、**平均(棒の中央、色の濃いところ)**と、その**上下35%ずつ、計70%**が該当する、と推定される範囲を示しました。\* お手元の波動値(平均値)が図のなかでどこに位置するのかがご覧ください。一般に、上下とも、平均に近いほど、該当する製品の数は多くなります。
  - \* したがって、その上下(描かれていない部分)にも、格別高い、もしくは低い製品が、15%ずつ存在していることになります。
- グラフ全体についても、波動の高さとして中央付近 (S +40 ~ S +50) に位置する製品は、一般的で需要の多いものと考えられます。
- カテゴリーの分類に際しては、「健康」「自然」「生命力」「感情・精神」「(作り手・売り手の)意識」など、波動値の高低に反映する要因を手掛かりとしました。